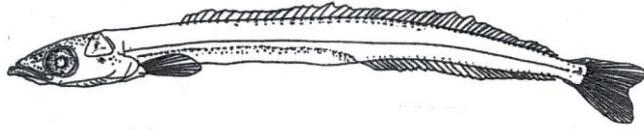


# 平成27年 コウナゴ情報



平成27年4月7日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

TEL : 0193 (26) 7915

FAX : 0193 (26) 7920

E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

平成27年2月に実施したイカナゴ稚仔魚分布調査の結果がまとまりましたので、現在の海況をふまえた本年のコウナゴ(イカナゴ当歳魚)漁況の見通しを、次のとおりお知らせします。

## 【平成26年漁期の状況】

平成26年漁期は低水温であったため、漁獲量は県北海域(久慈魚市場)が0.9トン(前年の2.5%)、県南海域(宮古、山田、釜石、大船渡の4魚市場計)が1.6トン(前年の7.7%)となりました(図1)。また、1隻あたりの水揚げ量(一隻当たり一日平均漁獲量:CPUE)の経年変化をみると、県北海域が40kg/隻(前年の17%)、県南海域が31kg/隻(前年の28%)となり(図2)、漁獲量およびCPUEともに前年を下回りました。

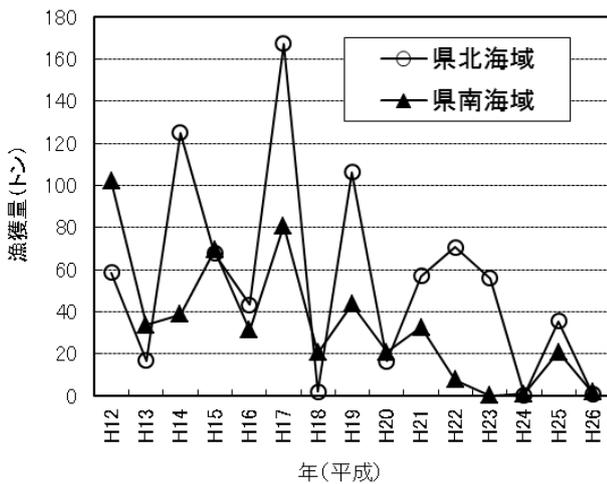


図1 漁獲量の推移

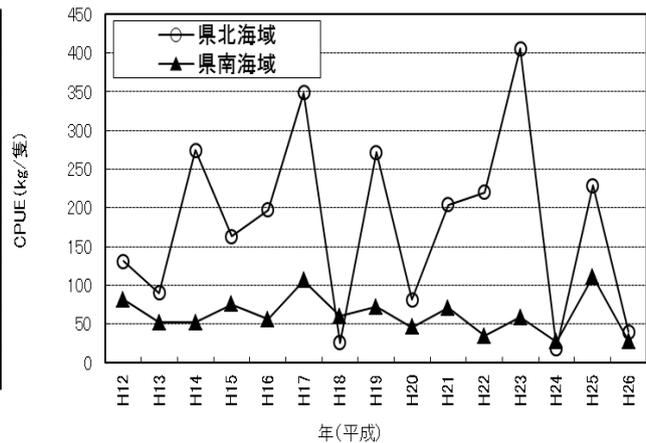


図2 CPUEの推移

## 平成27年岩手県沿岸のコウナゴ漁業の見通し

### ■ 予測対象

期間：平成27年4月～6月

魚種：コウナゴ(イカナゴ当歳魚)

海域：岩手県沿岸

漁業：火光利用敷網漁業

### ■ 漁況予測

宮古～大船渡：平年を下回るが、昨年は上回る

久慈：平年を下回るが、昨年は上回る

## 【見通しの背景】

### 1 平成 27 年イカナゴ稚仔魚調査結果

県北海域は 2 月 25 日、県南海域は 2 月 24 日に図 3 で示すそれぞれ 8 点において、漁業指導調査船北上丸により、稚魚ネットによるイカナゴ稚仔魚調査（水深 15m、10 分間水平曳き）を実施しました。（平成 26 年は調査未実施）

#### (1) 分布密度

イカナゴ稚仔魚の分布密度（100m<sup>3</sup>あたり 8 点平均）は、県北海域では 3.36 尾/100m<sup>3</sup>（過去 15 年平均 4.96 尾/100m<sup>3</sup>）、県南海域では 98.51/100m<sup>3</sup> 尾（過去 15 年平均 16.96 尾/100m<sup>3</sup>）でした。（図 4）。県北海域は平年より低かったが、県南海域では過去 15 年平均の約 6 倍と高い結果となりました。

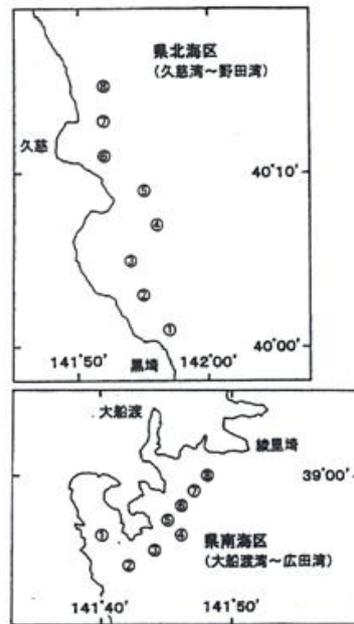


図 3. イカナゴ稚仔魚分布調査採集地点  
(平成 15 年調査～)

図 3 調査地点（平成 15 年調査～）

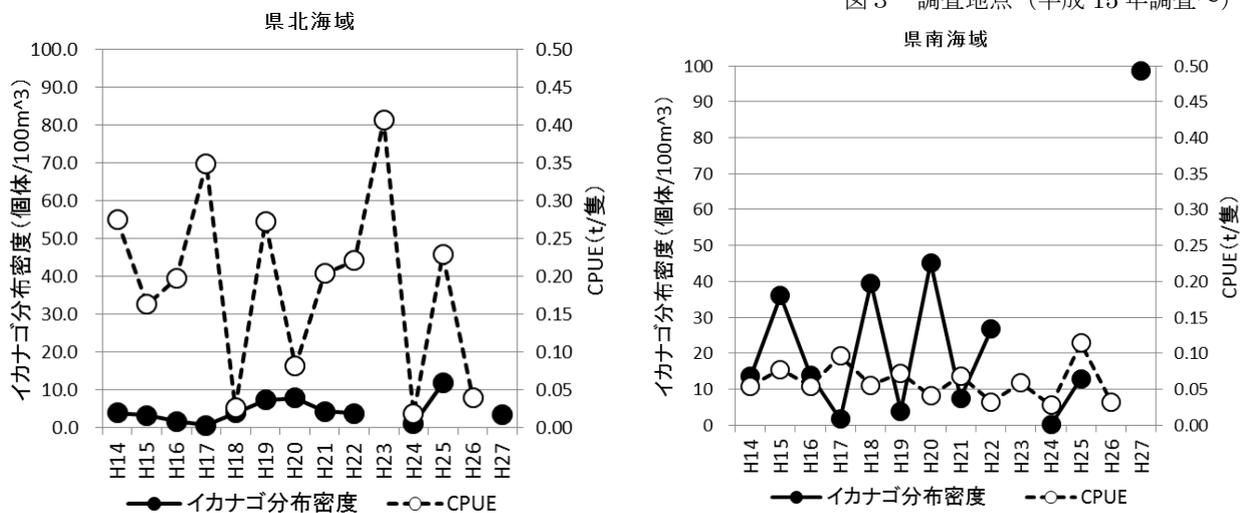


図 4 調査時の分布密度と漁期中 CPUE の経年変化

#### (2) 体長組成

平成 25 年と平成 27 年のイカナゴ稚仔魚の体長組成を図 5 に示しました。平成 27 年は、県北海域では 4.0～10.5 mm の範囲でモードは 5.0 mm にあり、県南海域では 3.0～13.0 mm の範囲でモードは 6.0 mm にありました。

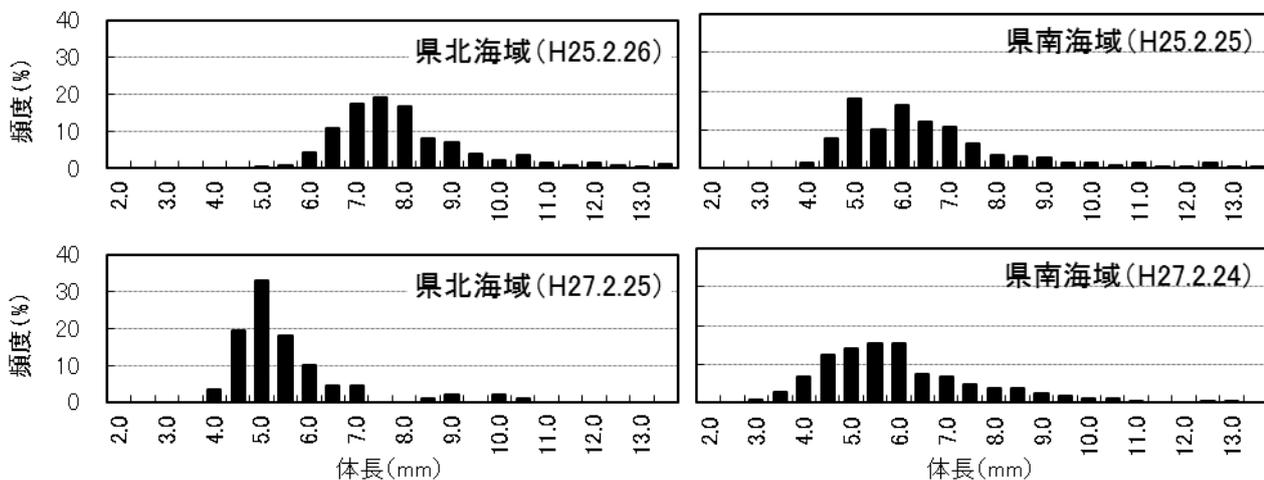


図 5 採捕したイカナゴの体長の頻度分布

## 2 CPUE とイカナゴ分布密度、表面水温との関係

CPUE はイカナゴ分布密度と明瞭な関係がなく、表面水温と正の相関関係にありました。

(図 6)

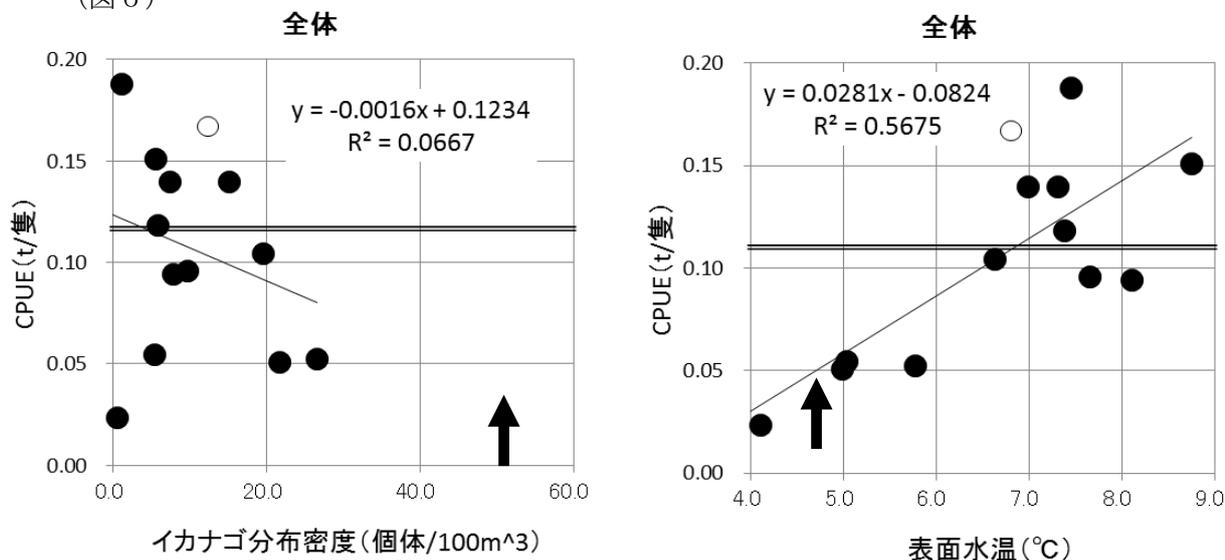


図 6 県全体の CPUE とイカナゴ稚仔魚密度、表面水温との関係。

白丸は H25、矢印は H27 を示す。二重線は H12～24 の CPUE の平均値

このことから、平成 27 年は平年より水温が低いので、CPUE も平年を下回ることが考えられます。予測 CPUE は、県北海域で 61kg/隻 (平成 26 年 40kg/隻)、県南海域で 52kg/隻 (同 31kg/隻) となり、両海域ともに平成 26 年を上回ることが考えられます。

県北海域：予測 CPUE = 0.056 × 水温 - 0.196

県南海域：予測 CPUE = 0.006 × 水温 + 0.02

## 3 他県の情報等

青森県：3月8～9日に陸奥湾湾口で実施した調査の結果、イカナゴの分布密度は極めて低い水準となっている。(ウオダス No. 1873)

宮城県：3月16～18日に実施した漁場形成状況調査では、牡鹿半島周辺海域の平均採捕数は過去10年平均を下回り、仙台湾周辺海域の平均採捕数は過去10年平均を上回っている。

(春漁情報第5報)

県北海域に関しては、陸奥湾由来のイカナゴが津軽暖流により輸送され漁獲されていると言われていますが、青森県では平成 25 年漁期から禁漁措置をとる等陸奥湾の資源量が大幅に減少していることから漁獲量が伸びない可能性もあります。

県南海域に関しては、黒潮系北上暖水の勢力が強いと好漁になるケースも見られ、漁期後半になって漁獲が増加する可能性もありますので、今後の海況に注視してください。

#### 4 まとめ

- ① 平成27年のイカナゴ稚仔魚の分布密度は、過去15年平均と比較すると、県北海域では平年より低く、県南海域では約6倍と高い結果となった。
- ② 平成27年は、県北海域では4.0～10.5mmの範囲でモードは5.0mmにあり、県南海域では3.0～13.0mmの範囲でモードは6.0mmであった。
- ③ 表面水温で単回帰分析を行った結果、平年より下回るが、両海域ともに前年より高いCPUEが予測された。

別表 平成27年イカナゴ稚仔魚調査結果、漁獲努力量統計データ

| 海区<br>実施日 | 県北海区<br>(H27.2.25) |          |                                 |           | 県南海区<br>(H27.2.24) |          |                                 |           |
|-----------|--------------------|----------|---------------------------------|-----------|--------------------|----------|---------------------------------|-----------|
|           | St.No.             | 表面水温(°C) | イカナゴ分布密度<br>尾/100m <sup>3</sup> | 漁獲量<br>トン | CPUE<br>kg/隻       | 表面水温(°C) | イカナゴ分布密度<br>尾/100m <sup>3</sup> | 漁獲量<br>トン |
| ①         | 3.5                | 0.82     | —                               | —         | 7.8                | 483.67   | —                               | —         |
| ②         | 4.2                | 0.00     | —                               | —         | 4.9                | 57.16    | —                               | —         |
| ③         | 4.3                | 1.72     | —                               | —         | 4.8                | 31.49    | —                               | —         |
| ④         | 4.1                | 3.79     | —                               | —         | 5.7                | 35.05    | —                               | —         |
| ⑤         | 4.8                | 0.00     | —                               | —         | 4.4                | 95.93    | —                               | —         |
| ⑥         | 5.4                | 0.00     | —                               | —         | 4.8                | 66.62    | —                               | —         |
| ⑦         | 5.4                | 8.48     | —                               | —         | 3.6                | 2.42     | —                               | —         |
| ⑧         | 5.2                | 12.10    | —                               | —         | 3.4                | 15.77    | —                               | —         |
| H27年      | 4.6                | 3.4      | —                               | —         | 4.9                | 98.5     | —                               | —         |
| H26年      | —                  | —        | 1                               | 40        | —                  | —        | 2                               | 31        |
| H25年      | 7.0                | 11.82    | 35                              | 229       | 6.6                | 12.85    | 21                              | 114       |
| H24年      | 4.9                | 1.00     | 1                               | 18        | 3.4                | 0.12     | 1                               | 27        |
| H22年      | 7.2                | 3.72     | 71                              | 220       | 7.4                | 26.67    | 8                               | 32        |
| H21年      | 7.6                | 7.41     | 57                              | 204       | 7.2                | 4.23     | 33                              | 68        |
| H20年      | 6.9                | 45.25    | 17                              | 81        | 4.7                | 7.78     | 21                              | 41        |
| H19年      | 8.9                | 3.89     | 106                             | 272       | 8.7                | 7.31     | 43                              | 72        |
| H18年      | 5.4                | 39.49    | 2                               | 26        | 4.5                | 3.90     | 20                              | 55        |
| H17年      | 7.3                | 1.69     | 167                             | 349       | 7.6                | 0.62     | 81                              | 96        |
| H16年      | 8.2                | 13.87    | 43                              | 197       | 8.1                | 1.69     | 31                              | 54        |
| H15年      | 6.4                | 35.96    | 68                              | 163       | 6.8                | 3.28     | 69                              | 77        |
| H14年      | 7.5                | 13.49    | 125                             | 274       | 6.4                | 3.93     | 39                              | 54        |
| H13年      | 4.7                | 2.34     | 17                              | 90        | 5.3                | 7.17     | 33                              | 45        |
| H12年      | 7.5                | 12.71    | 58                              | 131       | 7.9                | 7.96     | 107                             | 83        |

※分布密度は、稚魚ネット、水深15m、10分間水平曳きによる採集尾数から算出

※平成15年以降は、県南海域の調査定点を変更している

※漁獲量は各市場で水揚げされた生鮮を集計している(大漁ナビにより集計)。